

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成30年12月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪市 港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター



## 目 次

### I 事後調査の概要

1. 調査概要 .....	I - 1
2. 工事の実施状況 .....	I - 3
3. 調査結果の概要 .....	I - 4

### II 事後調査結果

1. 大気質 .....	II - 1
2. 水質 .....	II - 9



# I 事後調査の概要

## 1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 30 年 12 月（大気質、水質）の事後調査の概要は表-1 に、調査地点の位置は図-1 に示すとおりである。

表-1(1) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 大気質）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> ) 窒素酸化物(NO <sub>2</sub> 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	12月1日～31日	通年連続

表-1(2) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 水質（一般項目））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	12月13日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

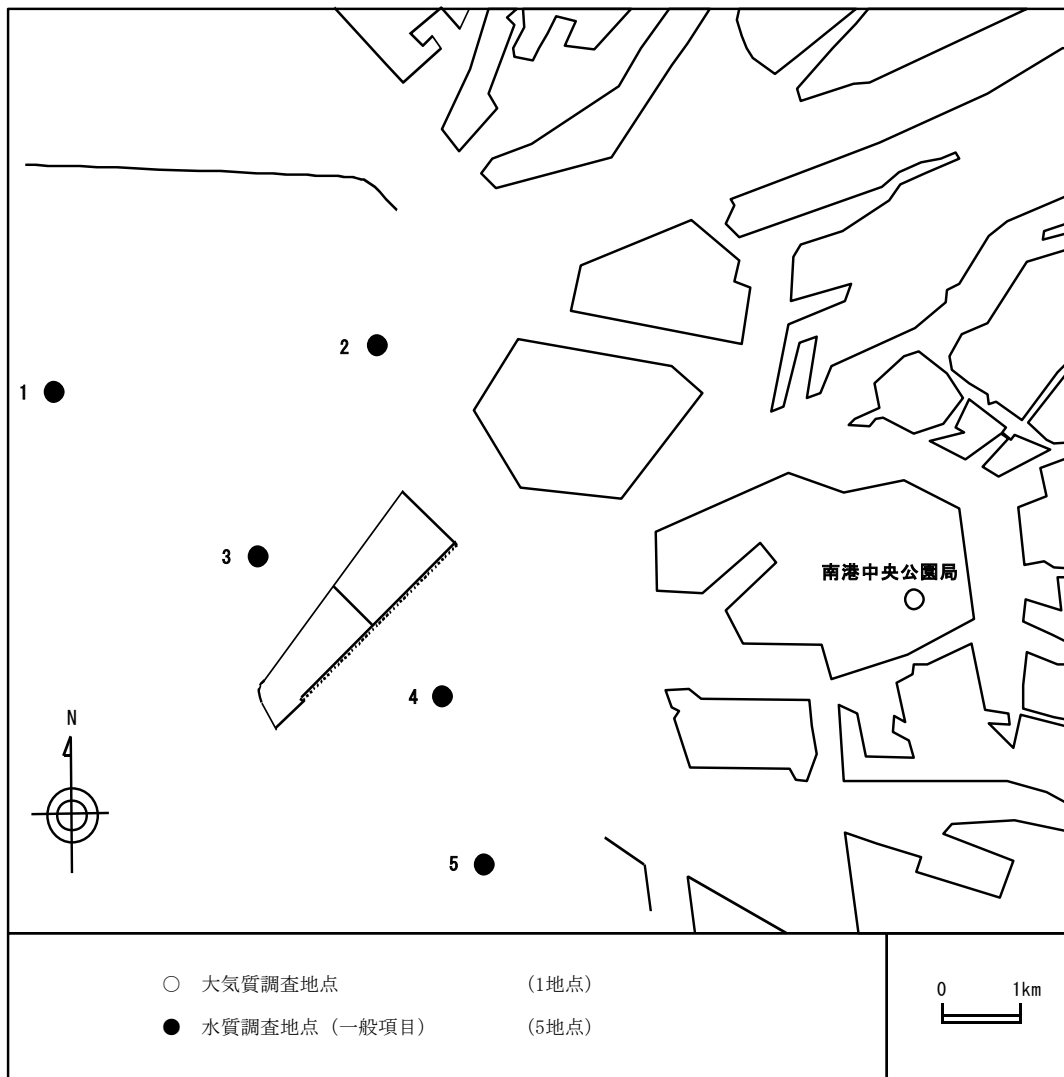
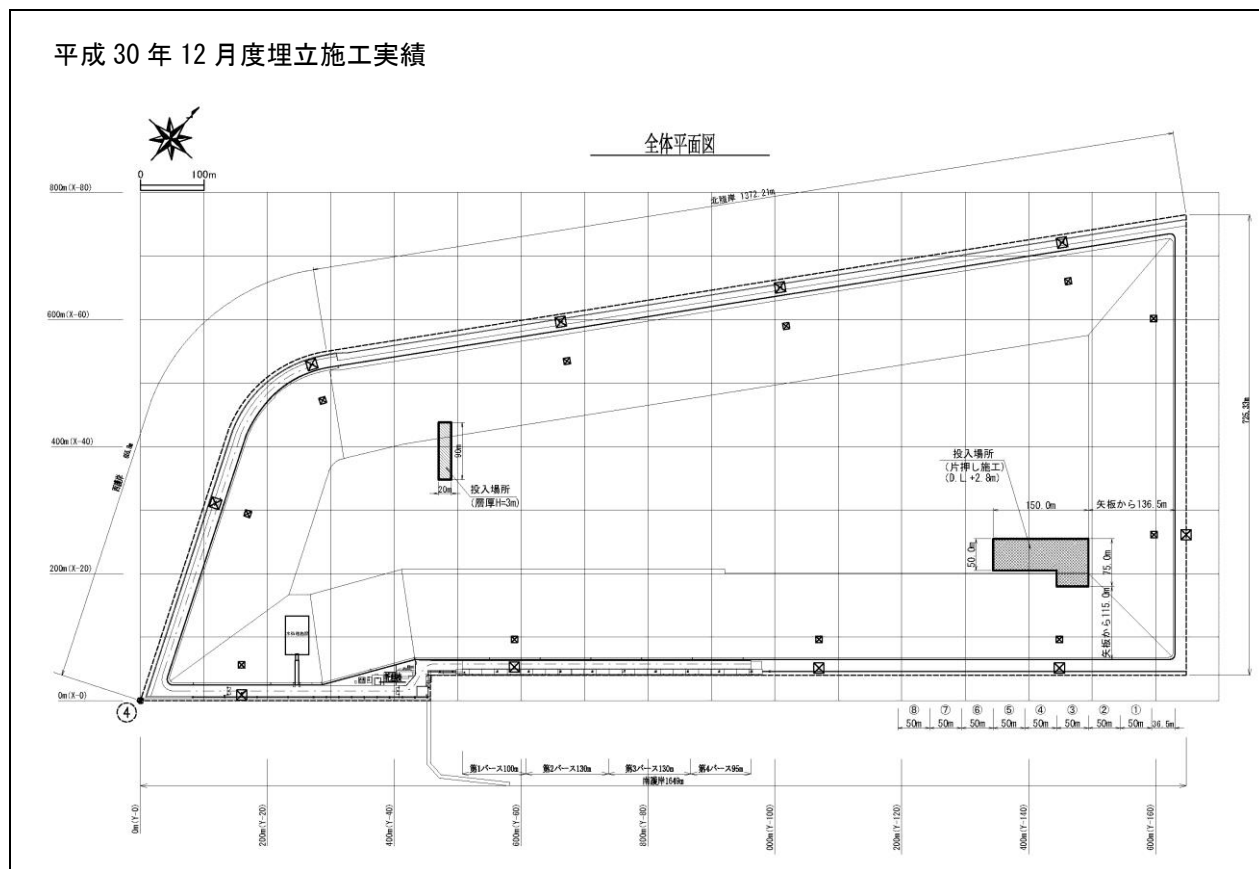


図-1 大気質・水質(一般項目)の調査地点

## 2. 工事の実施状況

平成 30 年 12 月の工事の実施状況は、図-2 に示すとおりである。



埋立量 (m <sup>3</sup> )	進捗率 (%)
4,889,160	35.0

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m<sup>3</sup>

図-2 工事の実施状況 (大阪沖処分場平面図)



### 3. 調査結果の概要

#### 埋立地周辺における調査

##### (1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

###### 1) 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm以下、1時間値：0.1ppm以下】

二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.003ppmであった。また、日平均値の最高値は0.008ppm、1時間値の最高値は0.017ppmであり、環境基準値を下回っていた。

###### 2) 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値0.04～0.06ppmのゾーン内またはそれ以下】

二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.023ppmであった。また、日平均値の最高値は0.046ppmであり、環境基準の範囲内であった。

###### 3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値0.10mg/m<sup>3</sup>以下、1時間値：0.20 mg/m<sup>3</sup>以下】

浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.015mg/m<sup>3</sup>であった。また、日平均値の最高値は0.037mg/m<sup>3</sup>、1時間値の最高値は0.055mg/m<sup>3</sup>であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

##### (2) 水質

###### ①一般項目 [水質様式第1号]

###### 1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8以上8.3以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で8.0～8.1、下層ではすべての地点が8.1であり、上層、下層共に全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

###### 2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で2.3～2.4mg/L、下層で1.7～2.0mg/Lであり、上層、下層共に全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

###### 3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で8.0～8.7mg/L、下層で7.7～8.5mg/Lの範囲にあり、上層、下層共に全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

###### 4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L以下】

全窒素 (T-N) は上層で0.46～0.83mg/L、下層で0.27～0.38mg/Lの範囲にあり、上層では調査地点1、2、4、5において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点1 (0.83mg/L)、調査地点2 (0.66mg/L)、調査地点4 (0.82mg/L)、調査地点5 (0.79mg/L)であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成12年度) は上層で0.46～2.1mg/Lであり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値 : 0.05mg /L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.049~0.080mg/L、下層で 0.033~0.045mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 1、2、4、5 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (0.073mg/L)、調査地点 2 (0.078mg/L)、調査地点 4 (0.075mg/L)、調査地点 5 (0.080mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.021~0.15mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で 1~2 度(カリン)、下層で 3~7 度(カリン)の範囲であった。

7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層ですべての地点が 2mg/L、下層で 2~3mg/L の範囲であった。

8) クロフィル a

クロフィル a は上層で 1.8~5.4  $\mu$ g/L、下層で 1.7~4.0  $\mu$ g/L の範囲であった。

## 《 参 考 》

### ■環境基準値等（本報告関係分）

#### 1. 環境基準

##### (1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、 1時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、 1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること。

##### (2)水質

###### ①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8以上8.3以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L以下
	全磷（T-P）	0.05mg/L以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD又はCOD）の評価方法について（昭和52年環水管52号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。

なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値（0.75×n番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について  
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

## 2. 事業実施前調査結果（平成12年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成12年度・調査地点1～5)	
		最小値 ~ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ~ 8.6 (13/60)	-
	下層	7.8 ~ 8.3 (0/60)	-
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ~ 4.9 (34/60)	3.2 ~ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ~ 3.6 (4/60)	2.0 ~ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ~ 14 (0/60)	8.6 ~ 9.8
	下層	0.6 ~ 11 (14/60)	6.2 ~ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ~ 2.1	0.91 ~ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ~ 0.82	0.44 ~ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ~ 0.15	0.061 ~ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ~ 0.25	0.038 ~ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点1～5における全調査地点の最小値と最大値を示す。  
 2. m：環境基準値を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。  
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における75%値の最小～最大を示す。

## II 事後調查結果



大気質測定結果総括表 [平成30年12月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	734
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	2
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	740
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	739
	1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注: 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果 [平成30年12月分]

測 定 局		南港中央公園		
項 目		日平均値 (ppm)	1 時間値の最高値 (ppm)	
日	1 (土)	0.004	0.008	
	2 (日)	0.003	0.012	
	3 (月)	0.004	0.011	
	4 (火)	0.005	0.016	
	5 (水)	0.004	0.010	
	別	6 (木)	0.003	0.008
		7 (金)	0.002	0.006
		8 (土)	0.001	0.004
		9 (日)	0.001	0.003
		10 (月)	0.001	0.003
値	11 (火)	0.002	0.003	
	12 (水)	0.003	0.010	
	13 (木)	0.003	0.007	
	14 (金)	0.002	0.004	
	15 (土)	0.001	0.002	
	16 (日)	0.002	0.006	
	17 (月)	0.003	0.007	
	18 (火)	0.003	0.006	
	19 (水)	0.004	0.013	
	20 (木)	0.008	0.017	
	21 (金)	0.003	0.006	
22 (土)	0.003	0.007		
23 (日)	0.005	0.016		
24 (月)	0.001	0.003		
25 (火)	0.003	0.006		
26 (水)	0.005	0.011		
27 (木)	0.003	0.008		
28 (金)	0.001	0.003		
29 (土)	0.001	0.006		
30 (日)	0.001	0.004		
31 (月)	0.001	0.003		
有効測定日数 (日)		31		
測定時間 (時間)		734		
月平均値 (ppm)		0.003		
日平均値の最高値 (ppm)		0.008		
1時間値の最高値 (ppm)		0.017		
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0		
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。



大気質様式第3号（埋立地関連）

一酸化窒素測定結果 [平成30年12月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (土)	0.016	0.081
	2 (日)	0.003	0.006
	3 (月)	0.030	0.076
	4 (火)	0.043	0.140
	5 (水)	0.005	0.015
	6 (木)	0.020	0.087
	7 (金)	0.004	0.009
	8 (土)	0.003	0.005
	9 (日)	0.002	0.003
	10 (月)	0.012	0.040
別	11 (火)	0.027	0.070
	12 (水)	0.021	0.094
	13 (木)	0.009	0.040
	14 (金)	0.005	0.011
	15 (土)	0.004	0.008
	16 (日)	0.009	0.026
	17 (月)	0.018	0.106
	18 (火)	0.004	0.009
	19 (水)	0.005	0.020
	20 (木)	0.068	0.172
値	21 (金)	0.042	0.095
	22 (土)	0.016	0.071
	23 (日)	0.017	0.056
	24 (月)	0.003	0.007
	25 (火)	0.035	0.096
	26 (水)	0.039	0.131
	27 (木)	0.004	0.008
	28 (金)	0.004	0.008
	29 (土)	0.003	0.006
	30 (日)	0.002	0.004
	31 (月)	0.003	0.009
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		740	
月平均値 (ppm)		0.015	
日平均値の最高値 (ppm)		0.068	
1時間値の最高値 (ppm)		0.172	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果 [平成30年12月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (土)	0.025	0.048
	2 (日)	0.019	0.041
	3 (月)	0.037	0.044
	4 (火)	0.031	0.051
	5 (水)	0.020	0.038
別	6 (木)	0.027	0.044
	7 (金)	0.016	0.025
	8 (土)	0.008	0.013
	9 (日)	0.007	0.014
	10 (月)	0.028	0.040
	11 (火)	0.036	0.045
	12 (水)	0.026	0.036
	13 (木)	0.024	0.041
	14 (金)	0.019	0.033
	15 (土)	0.019	0.039
値	16 (日)	0.028	0.037
	17 (月)	0.023	0.041
	18 (火)	0.014	0.027
	19 (水)	0.020	0.037
	20 (木)	0.046	0.061
	21 (金)	0.042	0.067
	22 (土)	0.034	0.052
	23 (日)	0.026	0.051
	24 (月)	0.012	0.032
	25 (火)	0.036	0.052
	26 (水)	0.039	0.050
	27 (木)	0.015	0.024
	28 (金)	0.011	0.023
	29 (土)	0.008	0.019
	30 (日)	0.006	0.012
	31 (月)	0.009	0.026
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		740	
月平均値 (ppm)		0.023	
日平均値の最高値 (ppm)		0.046	
1時間値の最高値 (ppm)		0.067	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		2	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物（NO+NO<sub>2</sub>）測定結果 [平成30年12月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値		1時間値の最高値 (ppm)
		(ppm)	NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)	
日	1 (土)	0.042	60.8	0.126
	2 (日)	0.022	87.1	0.044
	3 (月)	0.066	55.1	0.120
	4 (火)	0.074	42.5	0.180
	5 (水)	0.025	80.2	0.051
	6 (木)	0.048	57.1	0.131
	7 (金)	0.020	79.1	0.033
	8 (土)	0.011	72.4	0.018
	9 (日)	0.009	73.6	0.017
	10 (月)	0.040	68.8	0.080
別	11 (火)	0.064	57.0	0.104
	12 (水)	0.047	54.9	0.130
	13 (木)	0.033	71.9	0.078
	14 (金)	0.024	79.4	0.043
	15 (土)	0.023	82.6	0.047
	16 (日)	0.037	75.7	0.054
	17 (月)	0.041	55.8	0.145
	18 (火)	0.019	77.3	0.036
	19 (水)	0.025	79.1	0.056
	20 (木)	0.114	40.6	0.226
値	21 (金)	0.084	50.3	0.140
	22 (土)	0.051	68.0	0.123
	23 (日)	0.044	60.3	0.100
	24 (月)	0.015	80.8	0.039
	25 (火)	0.071	51.1	0.131
	26 (水)	0.078	49.7	0.180
	27 (木)	0.019	79.4	0.031
	28 (金)	0.015	72.6	0.030
	29 (土)	0.011	73.3	0.025
	30 (日)	0.008	72.0	0.014
	31 (月)	0.012	76.9	0.035
有効測定日数 (日)		31		
測定時間 (時間)		740		
月平均値 (ppm)		0.038		
日平均値の最高値 (ppm)		0.114		
1時間値の最高値 (ppm)		0.226		
月平均値 NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)		59.9		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば( )書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO<sub>2</sub> / (NO+NO<sub>2</sub>)の算定方法は、下記のとおりである。

$$\text{日(月)平均値NO}_2 / (\text{NO} + \text{NO}_2) =$$

(NO及びNO<sub>2</sub>が同時測定されている時間のNO<sub>2</sub>濃度の日(月)間にわたる総和) /

(NO及びNO<sub>2</sub>が同時測定されている時間のNO+NO<sub>2</sub>濃度の日(月)間にわたる総和)

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果 [平成30年12月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(mg/m <sup>3</sup> )	1時間値の最高値(mg/m <sup>3</sup> )
日	1 (土)	0.035	0.046
	2 (日)	0.022	0.030
	3 (月)	0.024	0.029
	4 (火)	0.020	0.032
	5 (水)	0.011	0.018
別	6 (木)	0.014	0.023
	7 (金)	0.011	0.017
	8 (土)	0.005	0.009
	9 (日)	0.006	0.009
	10 (月)	0.007	0.013
	11 (火)	0.013	0.020
	12 (水)	0.012	0.028
	13 (木)	0.009	0.015
	14 (金)	0.009	0.012
	15 (土)	0.010	0.016
値	16 (日)	0.014	0.018
	17 (月)	0.015	0.023
	18 (火)	0.014	0.022
	19 (水)	0.015	0.023
	20 (木)	0.037	0.055
	21 (金)	0.034	0.055
	22 (土)	0.019	0.028
	23 (日)	0.023	0.039
	24 (月)	0.008	0.014
	25 (火)	0.015	0.028
	26 (水)	0.023	0.042
	27 (木)	0.010	0.021
	28 (金)	0.004	0.006
	29 (土)	0.005	0.010
	30 (日)	0.004	0.007
	31 (月)	0.006	0.010
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		739	
月平均値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.015	
日平均値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.037	
1時間値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.055	
1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第7号（埋立地関連）

気象観測結果（風向・風速）[平成30年12月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多 風向  16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	1 (土)	-	-	-	
	2 (日)	-	-	-	
	3 (月)	-	-	-	
	4 (火)	-	-	-	
	5 (水)	-	-	-	
別	6 (木)	-	-	-	
	7 (金)	-	-	-	
	8 (土)	-	-	-	
	9 (日)	-	-	-	
	10 (月)	-	-	-	
値	11 (火)	-	-	-	
	12 (水)	-	-	-	
	13 (木)	-	-	-	
	14 (金)	-	-	-	
	15 (土)	-	-	-	
値	16 (日)	-	-	-	
	17 (月)	-	-	-	
	18 (火)	-	-	-	
	19 (水)	-	-	-	
	20 (木)	-	-	-	
	21 (金)	-	-	-	
	22 (土)	-	-	-	
	23 (日)	-	-	-	
	24 (月)	-	-	-	
	25 (火)	-	-	-	
	26 (水)	-	-	-	
	27 (木)	-	-	-	
	28 (金)	-	-	-	
	29 (土)	-	-	-	
	30 (日)	-	-	-	
	31 (月)	-	-	-	
測定時間 (時間)					
月平均風速 (m/s)					
月最大風速 (m/s)					
月最多風向 (16方位)					

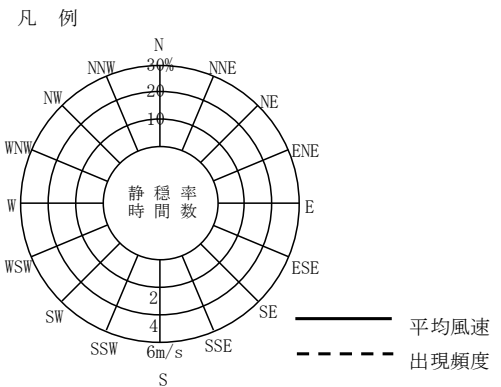
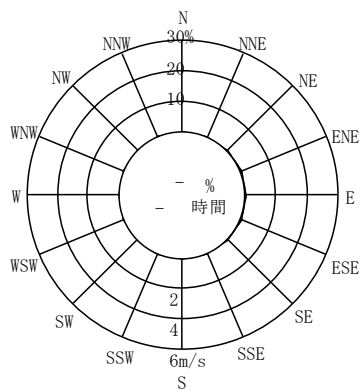
注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [平成30年12月分]

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
頻度 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平均風速 (m/s)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

測定局：南港中央公園局 風向風速計高さ：14.2m



注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風配図 [平成30年12月分]

水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）[平成30年12月分]

調査日：平成30年12月13日

項目	調査点		1	2	3	4	5	最小値	～	最大値	平均値
時刻			8:25	8:05	8:40	9:16	9:01		-		-
透明度	[m]		4.0	3.5	6.0	4.0	4.0	3.5	～	6.0	4.3
水温	[°C]		14.1	16.2	15.0	14.7	16.1	14.1	～	16.2	15.2
			16.4	16.4	16.3	16.4	16.6	16.3	～	16.6	16.4
塩分	[-]		29.2	30.8	30.7	28.0	31.0	28.0	～	31.0	29.9
			32.3	32.2	32.2	32.3	32.4	32.2	～	32.4	32.3
濁度	[度(カリン)]		2	2	1	2	2	1	～	2	2
			3	5	4	7	3	3	～	7	4
浮遊物質 (SS)	[mg/L]		2	2	2	2	2	2	～	2	2
			2	3	2	3	3	2	～	3	3
水素イオン濃度 (pH)	[-]		8.1	8.0	8.1	8.1	8.1	8.0	～	8.1	-
			8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	～	8.1	-
化学的酸素要求量 (COD)	[mg/L]		2.3	2.4	2.3	2.4	2.4	2.3	～	2.4	2.4
			1.9	2.0	1.7	1.9	1.8	1.7	～	2.0	1.9
溶存酸素量 (DO)	濃度	[mg/L]	8.7	8.0	8.7	8.3	8.3	8.0	～	8.7	8.4
	飽和度	[%]	102	98	104	97	102	97	～	104	101
全窒素 (T-N)	[mg/L]		0.83	0.66	0.46	0.82	0.79	0.46	～	0.83	0.71
			0.32	0.38	0.31	0.32	0.27	0.27	～	0.38	0.32
全燐 (T-P)	[mg/L]		0.073	0.078	0.049	0.075	0.080	0.049	～	0.080	0.071
			0.033	0.045	0.034	0.044	0.044	0.033	～	0.045	0.040
クロロフィル a (chl. a)	[μg/L]		2.8	1.8	5.4	4.1	4.7	1.8	～	5.4	3.8
			2.3	1.7	4.0	3.4	2.6	1.7	～	4.0	2.8

注) 上段：上層（海面下1m）  
下段：下層（海底面上2m）

特記事項
------